

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達サポート つなぐ利府		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日 ～ 2026年1月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8		(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9		(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	3月10日		

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉事業経験5年以上の職員が多数在籍しており、職員自身のキャリアアップの為、研修（医療的ケア児等支援者養成研修の受講・外部研修への参加など）に積極的に参加し、職員で共有する場を設ける等、専門的な支援を提供できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修等のお知らせ等については全職員に周知し、積極的な参加を促している。 ご家族様にも協力をいただきながら、午前保育の日（受け入れ時間の短縮）を設けたり、利用者様の利用人数や、職員シフトを調整し、職員が研修等に参加しやすい環境を整えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、職員が研修等に参加しやすい環境やシステムを整えていき、受講後の研修報告の場の設定等、支援の質の向上を図っていく。 職員がそれぞれの専門性を十分に発揮しながら従事出来るように、こまめに面談の機会を設けるなど、意見交換し合える場を設定していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 看護師や理学療法士等が中心となり、医療的ケアのあるお子様へのきめ細やかな全身状態の観察や排痰ケア、他子さんに合わせたケアを実施し、体調面が変化しやすいお子様に十分配慮した支援が提供出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師・保育士・理学療法士等、多職種が連携しながら、専門的な支援が行えるように、こまめに情報共有しながら支援することを意識している。 日々、保護者様とも細やかに体調面の変化や様子等を情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士が利用者様の体調面や支援方法等について情報共有できる場を多く設定したり、共有方法を工夫しながら、多職種が連携しながら利用者様の個別性に合わせた支援を提供していく。 看護師以外の職員による、喀痰吸引等研修の受講についても進めていく。

3	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にお茶会や行事などを開催し、保護者様同士の情報交換や交流を深められる機会を多く設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートや保護者様の要望などを確認しながら、行事等に喜んで参加してもらえるように工夫しながら開催している。 昨年度の要望に沿って、卒園児の保護者様との交流の場（お茶会への参加の促し）を提供することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒園児さんとの交流についても、イベントや行事の開催など検討していきたい。 適宜、保護者様の意見を確認しながら、参考にしていき、保護者様同士のつながりや情報交換の場を大切にしていきたい。
---	---	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること <small>※事業所の課題や改善が必要だと思われること</small>	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながり、地域の保育所さんとの情報交換の場、交流の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を巻き込んだ行事やイベントの開催が行われていない。 地域の保育所との交流保育の機会を計画しているが、感染症流行等の影響もあり、令和7年度は2回のみで開催となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を巻き込んだイベント等の開催について検討していく。 地域の保育所や保育士さんとの意見交換の場や情報共有出来る機会を設けていく。 地域の保育所（保育士さん）との情報交換できる場を設定していく。
2			

3			
---	--	--	--